

慶蔵院寺報

# 公孫樹

2024年2月発行

第145号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町1211

TEL 0596 (22) 3726



朗読会 画 山寄淑子

葬儀参列者みんなで歌ったハッピーバース

慶蔵院で英語を教えていただいている三浦先生は、家族五人、十八年間アメリカで生活されてきました。帰国後、水のきれいな地を求めて伊勢に来られ、「何かお手伝いすることがあればさせてもらいます」と訪ねて来てくださった以来、十四年間、「てらこや塾」の運営を財政的にも支援してきてくださいました。

帰国に際し、次女の京子さんと弟さんはアメリカに残りました。渡米の時、京子さんは小学校三年生。アメリカで始めたバイオリンの音色は聴く人を魅了し、オーケストラの団員として活躍しました。二年前に帰国、セラピストとしての仕事も軌道にのり出した矢先、癌が発覚。在宅医療を選択し、家族の手厚い看護に見守られたものの、一月十八日、お別れを迎えることとなったのでした。

自宅での通夜の日。小学校三年生まで一緒だった同級生が二人、セラピーで救われたという方々、奈良からの友人夫婦が駆け付けてくれました。参列者が心を合わせて称える読経・念仏。みなさんに一言をいただくと、「いつも笑顔だった」「ずっと心に残っていて会いたかった」「やさしさに救われた」「ありがとうと言いたい」「また会いたいです」と語られました。お母さんからは「十分に務めを果たし切って、新しい役割のために導かれたと思うから、…元気でね…」と。長女の知子さんと従弟さんが歌を歌い、通夜の最後には、全員で「ふるさと」を合唱しました。

本堂で行われた葬儀。英語教室の最初からの教え子さんも参列。知子さんが「星に願いを」を歌い、アメリカから届いたメッセージを紹介。「今、京子ちゃんが来てくれて『私、確かに色々な事があって短い人生でしたが、愛を感じなかったことは一度もないんです…本当によい人生だったと感じています』って、あのやさしい笑顔で言っていました」と。知子さんは続けて「京子ちゃんの新しい門出を祝して、みんなでハッピーバースデーを歌おうと思います」と訴え、参列者がみんなが唱和しました…。詳細は四ページに掲載しています。



# 2月の行事予定



7日(水)	写経会 男性詠唱隊	午前10時～ 午前11時半～
11日(日)	子ども会 「どむならん人形劇」 涅槃会	午前10時～ 午後1時～
12日(月)	華道「山村御流」教室 講師 小森清真先生	午後1時半～ 参加費2000円 と 花代
14日(水)	落語会「いちご亭」 南遊亭栄歌・安楽亭東風	午後7時～ 一会館にて 無料 おひねり歓迎
21日(水)	健康教室 歩き方教室 講師 馬場久美子先生	午後1時～3時 参加費500円
10日・24日(土)	絵画サロン 講師 山寄淑子先生	午後7時～8時半 一会館にて 参加費1回500円
28日(水)	地藏講・地藏堂開帳	午後1時半～
25日(日)	戦没者慰霊平和の鐘	朝の勤行にて 午前8時頃
8日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前10時～11時半 午後1時半～3時 一会館にて 参加費1回1000円
9日・23日(金)	茶道教室 講師 河井宗恵生 樋口宗恵先生 田島宗紀先生	午後7時～子供茶道教室 7時半～大人茶道教室 大人500円 一会館にて

慶蔵院 知識 part2 ⑨

音の響きから見た「南無阿弥陀」



そもそも南無阿弥陀仏は、諸説ありますが、梵語のナマス・アミータ・ブツダの音写語で、善導大師「観経疏」に、南は帰、無は命、阿は無、弥は量、陀は寿、仏は覚なり、故に帰命無量寿覚と言うと書いてあります。計り知れないほど長い寿命の覚りを開いた威厳があつて徳の高い人に心をこめて信仰しますとの意味になります。

さてここからは私の独断ですが、アミータに注目したいと思います。聖書には、アメン、コーランには、アリフ・ラム・ミーム又はアリフ・ラム・ラーと書いてある所があり、音の響きがよく似ていて何か神仏に繋がる呪文のような気がします。昨年、松禅院仲秋念仏のおり、十数名で一心に念仏を称えていると、私は気づきませんでした。後ろの方から何か女性の高い声かしているのを聞いた人がいました。十二月の成道会での尺八の演奏の時と同じ現象だったと思われます。

仏典に節をつけて歌われる声明(しょうみょう)というものがあります。指揮も伴奏もなく何人かが一斉に声を出して歌い始めるのですが、音の高さもフレーズもそろわず各自ばらばらに進行していきませんが、目的は音量を大きくするのではなく、空間の響きの密度を高めることにあるのです。倍音干涉のイタズラで、男の僧侶の声の中に女性のような非常に高い声か聞こえることがあるそうです。慶蔵院でも是非大勢で念仏を行って、すごい体験を試してみたいものです。

(文 麻畑公生)

## 戦争の記憶

朝の勤行の際、お檀家で、戦後生まれの娘さんが、聞いた話として伊勢市にあった空襲についての話をしてくれました。この時の話を何回かに分けて掲載します。

これを機会に、多くの皆さんからの戦争体験談や体験者から伝え聞いた話などを投稿いただいて、この企画を発展させていくことができると願っています。

よろしく願います。

「昭和二十年、伊勢にも何度となく空襲がありました。一回目は外宮など山間部への空襲、市内の半分以上を焼きました。朝熊山の方から敵機が現れ、焼夷弾が雨のように町中に降りそそぐ中を、市民は宮川の方へ逃げ惑ったのです。

母は昭和十七年生まれです。祖父は出征して、身重の祖母と粟野の方に疎開していました。空襲が始まり、逃げ遅れた祖母と母は、田んぼの畦に毛布を被ってうつぶせになりました。その時、母は、祖母から『ここで一緒に死のう』と言われた言葉を覚えていたそうです。また、幼かった母が、毛布の隙間から見た伊勢の大火が忘れられないと言っています。

…次号に続く



## 住職の健康回復への道のり(24)

八尾に通い始めて二年になります。健康体回復に向けて確実に前進していると感じます。現在大切にしていることは、教えていただいた自宅での養生法、体操を、生活サイクルの中に組み込んでいくことです。仕事に追われると、つい後回しにしてしまうことを戒め、忙しいときにこそ、小刻みに実行するように努めています。その内容は、  
 ①血流をよくする静脈還流体操。②毎朝の勤行でも取り入れている迷走神経反射体操・三叉神経調節体操。③手と足の指先の関節と爪を押さえる抹消神経刺激体操、④首を調整し頭部への血流を促進する頸部修正体操です。

## 子ども会

2月11日(日) 10時

第一部 絵本・紙芝居  
高橋さんグループ

第二部  
人形劇団「どむならん」  
十二支のはじまり・  
折り紙桃太郎



慶蔵院  
一会館にて  
無料です

お声をかけて、お友達、ご家族  
皆さんでお越しく下さい!!

寒明けて春への期待ランドセル

(「知恩」二月号「柳壇」に掲載)

奥田 悦生

落語会「いちご亭」

第2水曜 14日 午後7時

無料です

館「第2水曜 14日 午後7時 慶蔵院「一会

出演 法話 慶蔵院住職



## 麻畑公生の「浄土宗新聞」 見どころ・読みどころ



P. 2 令和6年能登半島地震

この中で、金沢市の法船寺住職が、防災士の資格を持っていることがわかります。防災士とはどのような資格でしょうか。民間資格で、研修講座を受講して三者択一の筆記試験を受けて合格し、消防本部又は日本赤十字社等の公的機関が主催する講習を受講して、終了証又は認定証を取得した人に認定されるそうです。役割は、自助・共助・協同を原則とし公助との連携充実につとめ、社会の減災と防災向上のための活動することだそうです。さて、わが慶蔵院では災害時何ができるか考えておくことが必要ではないでしょうか。3ページの「災害時に宗内の人材活用を」も参考になると思います。

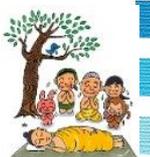
二月十一日(日)

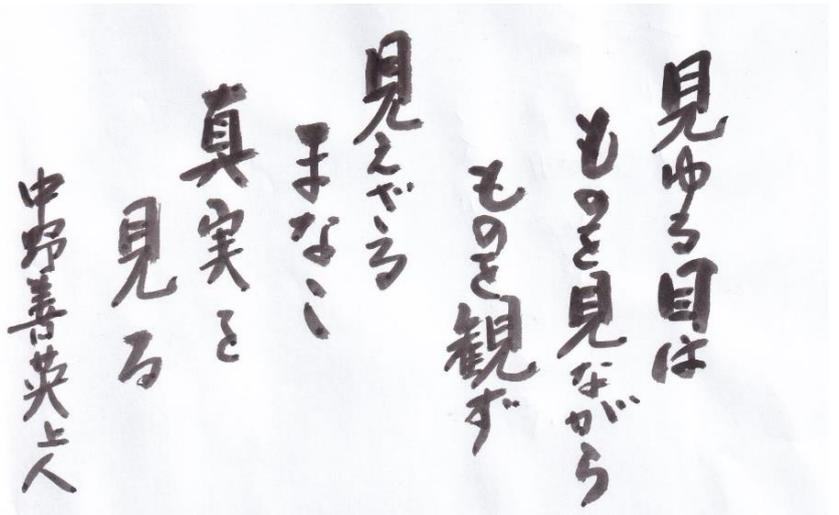
涅槃会

説教師 大阪 乗雲寺住職

安井隆同ト

午後一時 法要





大念仏の日の念仏行脚が

「知恩」二月号「読者の声」に投稿・掲載されま  
した!!

昨年秋、午前中にわが町内を念仏行脚してまわりま  
した。山の神、お地藏さん、庚申さん等を回って、  
地区内に清浄光念仏の声を届けました。一歩二歩：  
…と行脚して、おひねりを頂戴して銀杏を受け取っ  
てもらいました。秋晴れのなか、家内安全、交通安  
全等を祈願しながら……。午後は慶蔵院本堂にて東

極楽への往生を確信する葬儀にとって、ハッピーバ  
ースデーの歌は「ふさわしい歌だ」と思いました。三  
浦先生、お父さんの「しっかりと生き抜いた娘の人生  
には悔いはない…。新たな出発にエールを贈りたい  
…。」との喪主挨拶も、確信に溢れていました。ここに  
知子さんが葬儀で、京子さんに語られた贈る言葉の一  
部を紹介します。

「一月十八日は何かを始めるには最高の日だったの  
だそうです。京子ちゃん、すごい日を狙って、次なる  
次元へと飛び立っていきましたね。…宝くじに当たる  
よりも難しい確率で、私たちは同じ時代に生まれ、家  
族として同じ時を共有できたこと、心から感謝してい  
ます。…世界中から京子ちゃんへの祈りが寄せられま  
した。みんな共通して、京子ちゃんは、ほんとに素晴  
らしいミュージシャンで、ピュアーで、やさしい魂だ  
ったと。京子ちゃんを思い浮かべると、やさしく温か  
く微笑んでいる姿が浮かぶと。…京子ちゃんは、まる  
で空気のように当たり前にそこにいて、すべてのいの  
ちを包み込み、活かし、癒し、あたたかく見守って育  
てていく、そんな存在でした。…肉体を離れた今は、  
想像を絶するほど大きなスケールで、自由自在に時空  
間を飛び回り、きっとみんなに癒しスマイルと美しい  
音色を届けてくれていることでしょう。…京子ちゃん  
の新しい門出を祝して、みんなでハッピーバースデー  
トゥーユーを歌おうと思います。…京ちゃんに出会え  
た奇跡に。そして、宇宙が誕生して今日まで続く、全  
てのいのちに、感謝いたします。京子ちゃん、また会  
える日を楽しみにしていますね。どうぞ元気でね。」